

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	LikePot小郡				公表日	令和7年 3月 1日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6		部屋数も多く、活動毎に分けることができている。 パーティションを活用し1人になれる空間を確保している。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6		個別対応の子にも対応できる配置になっている。	曜日やその日のスタッフによっては改善の余地あり。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6		パーティションなどを活用し、視覚化することで子どもたちに分かりやすい環境になっている。 待つ場所は足のイラストで示している。 PECSを使うなど工夫している。	入口に段差がありスロープもなく、室内も車いすが通る広さはないのでバリアフリー化はされていない。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	5	1		建物が古く壁からありが出てきたことがあった。すぐに対策は行ったが、もう少し清潔な空間にできたらと思う。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6		活動に応じて部屋を分けている。 常に子どもの発言や声を聞き行動を見て、場所の提供・環境作りをしてる。 カームの場所も確保できる。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	6		その都度、スタッフ間で話し合うよう心掛けている。 ミーティングをしている。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	1	保護者向け評価表は年1回アンケートを実施し全スタッフへ周知を図っている。それをもとにミーティングで業務改善に繋げている。	評価票は定期的（年に数回）は行っていないとの意見あり。ご意向については、評価票の時期だけでなく、都度対応を行っていく。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6		毎月ミーティング・ヒアリング、もしくは必要に応じて話し合いの機会を設けている。 何か問題があれば、その都度管理者に報告している。	スタッフの勤務形態が異なり、ミーティングに参加できないこともある。今後、全スタッフがかわれるよう工夫していく。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	3	1		現在は利用者・社内の2者評価を取っている。第三者など外部評価については、今後必要に応じて実施を検討する。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6		社内研修に参加している。 外部研修の情報を定期的に得ている。	
	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6			保護者へも分かりやすい公表を行う
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6		カンファレンスを行い情報共有を行っている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5		カンファレンスを行い情報共有を行っている。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6		カンファレンスを行い情報共有を行っている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6		情報共有できるよう記録を残している。	不適切な行動に目がいきがちみなるため、適切な行動や発言なども大事に観察や記録を意識していきたい。

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6		セラピストの意見を聞いて飽きの来ないよう活動を提案している。 同じ内容でも、目的に併せて使用する道具や動きを変え変化を加えている。 長期休暇は様々なイベントを企画している。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6		個別活動は各自、選択活動で行い、集団活動は運動遊びやルールのある遊びで行っている。	個別対応の多い児童が多い。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	業務割を作成し日々全体や自分の行う業務の確認を行っている。	書面をもとに確認してもらい、打ち合わせはできないこともある。細かい点は、口頭で確認していきたい。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6		終礼を行い、休みのスタッフも分かるよう記録を残している。	業務状況に応じて。その日に行えない場合がある。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	4			ガイドラインを用いて、スタッフの理解が深まるよう研修を行っている。
25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5		選択肢を与え選んでもらい、自己決定を大事にしている。		
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5			保健・医療の連携は難しいと感じる。必要時は相談助言をうけるよう進めていきたい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	4	1		必要な児童に関しては、こちらから会議の提案を行っているが、先方の都合等で実現できないことが多い。継続してアプローチしたり、情報共有ができるよう進めたい。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	4		必要に応じて、書面等で情報提供を行っている	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	3		児童発達支援センターが主催する会に参加している。 必要に応じて助言をもらっている。	
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	3	以前は、地域のもちつきなどに声をかけてもらい参加していた（コロナ以降参加できていない。）	現在は地域での交流はないので、今後機会があったら企画したい。
33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	4		定期的に参加できている。		
34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	5		利用時には毎回状況などをお伝えしている。		

	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	1		もう少し積極的に行いたい。検討していく。
保 護 者 へ の 説 明 等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5			今後、しっかりと時間をとって実施できるよう検討していく。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	5			家族ごとに参加するイベントはあるが、父のみ母のみきょうだい同士など細かな交流はないため検討していきたい
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	5			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	3	1		現在は行っていないので、今後企画できたらと思う。
非 常 時 等 の 対 応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	4	1	マニュアルは策定している。	計画的に研修や訓練を実施していきたい。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5			発生時に備え、今後も定期的な見直しをシミュレーション訓練を実施していく。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	5			
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	5			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	5			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	5			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5			
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	4	1		現在該当者がいないため、身体拘束に関する内容は計画書に記載していない。必要な子に関しては、今後カンファレンスを実施し、ご家族の了承を得た上で個別支援計画書に記載を行っていく。	